

# 県内企業の景況意識調査

(第179回)

- \* 2021年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み
- \* 2022年 1～3月期〈Ⅰ期〉の見通し

## 小売業、サービス業で大幅に改善

今期（2021年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期比21.7ポイント上昇の▲9.2となった。業種別のBSIは、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の6業種全てで改善した。

新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、小売業とサービス業で業況判断BSIが大幅に改善した。一方、製造業や卸・小売業では、原油価格の高騰などに伴う原材料仕入価格高騰を経営上の課題としてあげる企業の割合が上昇した。

来期（2022年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期比7.3ポイント上昇の▲1.9となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』の4業種で改善し、『建設業』『サービス業』の2業種で悪化する見通しである。

来期は、引き続き感染症の先行きを懸念する企業がある一方、消費マインドの回復や自動車減産の収束を期待する企業もあり、業況判断BSIは改善する見込み。

### \*2021年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

- 製 造 業……………2期ぶりに改善
- 卸・小売業……………卸売業・小売業ともに改善
- 建 設 業……………前期とほぼ同水準
- サービス業……………3期連続で改善

## 小売業、サービス業で大幅に改善

## ◎業況判断

【今期】(2021年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI: ▲ 9.2 (前期比+21.7ポイント)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなった 14.4% (前期比+6.6ポイント)
- ・悪くなった 23.6% (前期比▲15.1ポイント)
- ・変わらない 62.0% (前期比+8.6ポイント)

&lt;業種別&gt;

- ・前期比改善: 6業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)

新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、小売業とサービス業で業況判断BSIが大幅に改善した。一方、製造業や卸・小売業では、原油価格の高騰などに伴う原材料仕入価格高騰を経営上の課題としてあげる企業の割合が上昇した。

来期は、引き続き感染症の先行きを懸念する企業がある一方、消費マインドの回復や自動車減産の収束を期待する企業もあり、業況判断BSIは改善する見込み。

【来期】(2022年1~3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI: ▲ 1.9 (今期比+7.3ポイント)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなる 19.4% (今期比+4.7ポイント)
- ・悪くなる 21.3% (今期比▲11.1ポイント)
- ・変わらない 59.3% (今期比+6.4ポイント)

&lt;業種別&gt;

- ・今期比改善: 4業種 (『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』)
- ・今期比悪化: 2業種 (『建設業』『サービス業』)

## ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI: + 1.0 (前期比+22.2ポイント)

5業種で改善

収益BSI: ▲ 7.9 (前期比+16.7ポイント)

5業種で改善

【来期】

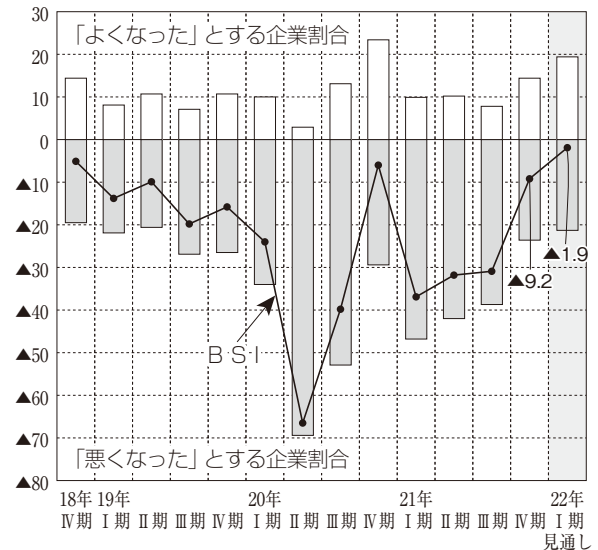
売上高BSI: ▲ 1.8 (今期比▲2.8ポイント)

5業種で悪化見通し

収益BSI: ▲ 9.3 (今期比▲1.4ポイント)

3業種で悪化見通し

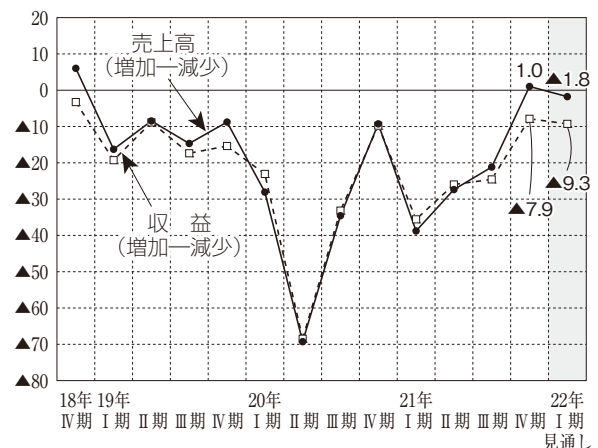
業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

|           | 2021年<br>Ⅱ期 | 2021年<br>Ⅲ期 | 2021年<br>Ⅳ期 | 2022年<br>Ⅰ期見通し |
|-----------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 建 設 業     | ▲22.0       | ▲21.4       | ▲20.0       | ▲32.0          |
| 製 造 業     | ▲20.0       | ▲29.0       | ▲22.2       | ▲ 1.3          |
| 卸・小売業     | ▲45.6       | ▲48.2       | ▲12.3       | ▲ 8.8          |
| 金融・不動産業   | ▲50.0       | ▲14.3       | 0.0         | 33.3           |
| 運 輸 業     | ▲ 6.7       | 0.0         | 6.7         | 26.7           |
| サ ー ビ ス 業 | ▲42.1       | ▲29.7       | 17.5        | 10.0           |
| 全 産 業     | ▲31.8       | ▲30.9       | ▲ 9.2       | ▲ 1.9          |

売上高と収益 (BSI)



## ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

### 【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 4.7 (前期比 + 13.2%)  
 全業種で上昇  
 雇用者数の現状 B S I : ▲ 27.1 (前期比 ± 0.0%)  
 3業種で上昇

### 【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 1.0 (今期比 + 3.7%)

## ◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(38.9%)
- 2位:「原材料仕入価格高騰」(17.8%)
- 3位:「人手不足」(14.9%)
- 4位:「人材不足」(12.0%)
- 5位:「競争激化」(5.3%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『サービス業』が51.4%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『製造業』で27.5%と最も高くなっている。

## ◎設備投資実施割合

### 【今期】

実施企業の割合: 40.3% (前期比 + 4.0%)  
 5業種で上昇

#### <投資目的>

- 1位:「補修・更新」(61.2%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(12.9%)
- 3位:「新製品生産」(5.9%)
- 4位:「合理化・省力化」「研究開発」(4.7%)

### 【来期】

実施予定企業の割合: 40.3% (今期比 ± 0.0%)  
 3業種で上昇見通し

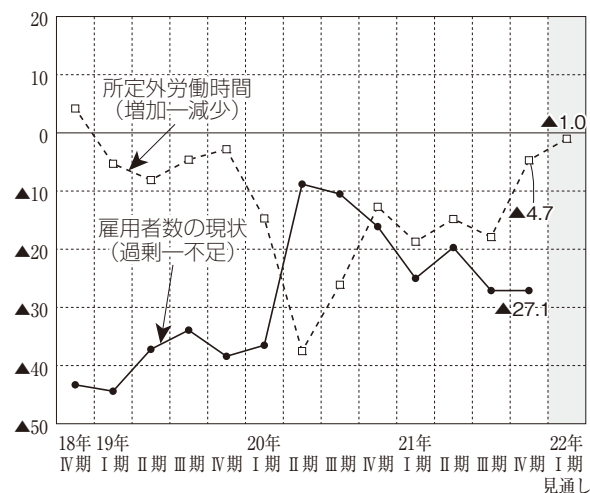
#### <投資目的>

- 1位:「補修・更新」(52.9%)
- 2位:「合理化・省力化」(16.5%)
- 3位:「生産能力の拡大・売上増加」(9.4%)

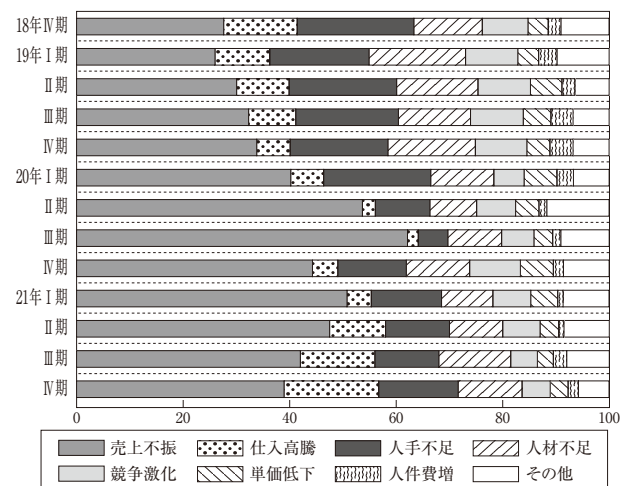
## ◎「今年の冬季ボーナスの支給予定額」について

今回の調査において、「今年の冬季ボーナスの支給予定額」について尋ねたところ、「前年の冬季と同額」が38.4%、「わからない」が21.3%、「前年の冬季より増額する」が13.9%、「前年の冬季より減額する」「ボーナスの支給予定はない」が12.5%となった。

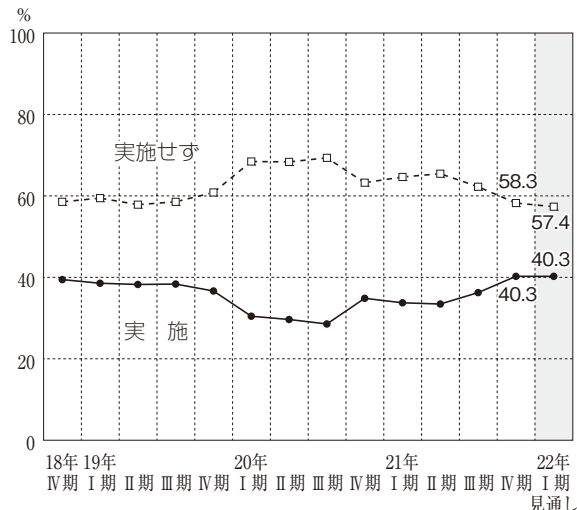
所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



## 2 期ぶりに改善

### ◎業況判断

【今期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲22.2（前期比+ 6.8㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 9.7%（前期比± 0.0㊦）
- ・悪くなった 31.9%（前期比▲ 6.8㊦）
- ・変わらない 58.3%（前期比+ 6.7㊦）

＜業種別＞

- ・前期比改善：5業種（「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「食料品」「印刷・出版」「その他」）
- ・前期比悪化：2業種（「機械」「木材・家具」）
- ・前期比不変：1業種（「窯業・土石」）

行動制限の緩和により酒造業などの「食料品」が改善したほか、「鉄・非鉄・金属」において住宅関連の受注が堅調な企業も見られ、業況判断BSIが改善した。経営上の課題では、原油などの原材料仕入価格高騰と回答する企業の割合が上昇している。

【来期】(2022年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲ 1.3（今期比+20.9㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 18.1%（今期比+ 8.4㊦）
- ・悪くなる 19.4%（今期比▲12.5㊦）
- ・変わらない 62.5%（今期比+ 4.2㊦）

＜業種別＞

- ・今期比改善：7業種（「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「機械」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「その他」）
- ・今期比不変：1業種（「窯業・土石」）

来期の景況感、自動車減産の影響が収束するとの見方から、「鉄・非鉄・金属」において業況判断BSIが今期よりも改善する見通しであり、全体の業況判断BSIも今期と比べ改善する見通しである。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲12.5（前期比▲ 1.2㊦）

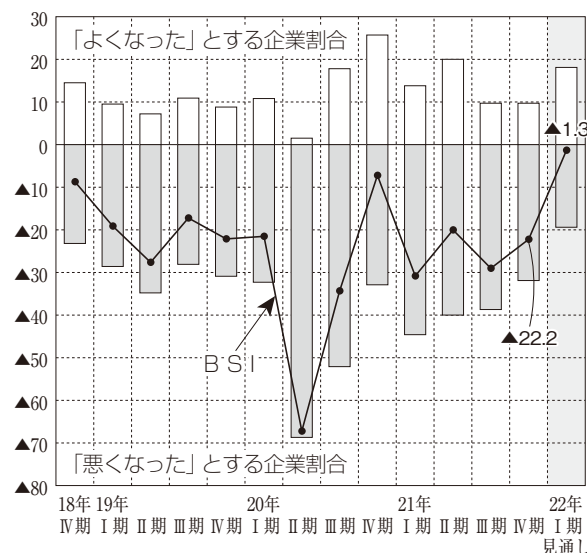
収益BSI：▲16.6（前期比+ 2.8㊦）

【来期】

売上高BSI：+ 4.2（今期比+16.7㊦）

収益BSI：▲ 5.6（今期比+11.0㊦）

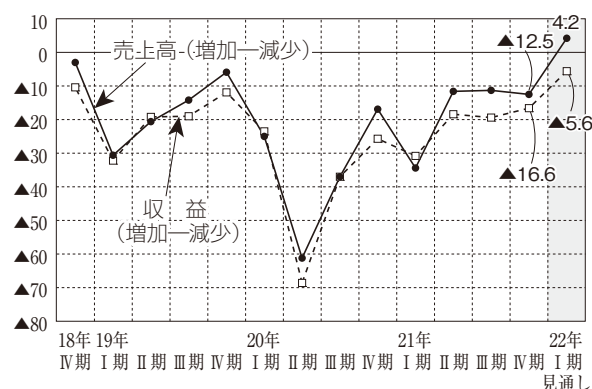
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

|         | 2021年<br>Ⅱ期 | 2021年<br>Ⅲ期 | 2021年<br>Ⅳ期 | 2022年<br>Ⅰ期見通し |
|---------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 化学・石油   | 0.0         | ▲25.0       | ▲16.7       | 0.0            |
| 鉄・非鉄・金属 | 14.3        | ▲42.8       | ▲33.4       | 22.2           |
| 機 械     | ▲22.2       | 5.8         | ▲15.8       | ▲ 5.3          |
| 食 料 品   | ▲27.3       | ▲53.8       | ▲ 7.7       | 7.7            |
| 木材・家具   | 33.4        | 0.0         | ▲12.5       | 0.0            |
| 印刷・出版   | ▲80.0       | ▲60.0       | ▲33.3       | ▲25.0          |
| 窯業・土石   | ▲25.0       | 0.0         | 0.0         | 0.0            |
| そ の 他   | ▲75.0       | ▲83.3       | ▲44.5       | 11.1           |
| 製 造 業   | ▲20.0       | ▲29.0       | ▲22.2       | ▲ 1.3          |

売上高と収益（BSI）



# 卸・小売業

(57社)

## 卸売業・小売業ともに改善

### ◎業況判断

【今期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲16.0 (前期比+ 9.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 12.0% (前期比+ 4.6㊦)
- ・悪くなった 28.0% (前期比▲ 5.3㊦)
- ・変わらない 60.0% (前期比+ 0.7㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲ 9.4 (前期比+59.6㊦)

<内訳>

- ・よくなった 12.5% (前期比+12.5㊦)
- ・悪くなった 21.9% (前期比▲47.1㊦)
- ・変わらない 65.6% (前期比+34.6㊦)

感染症の状況が落ち着き、行動制限が緩和されたことで、卸売業、小売業ともに業況判断BSIが改善した。特に小売業は大幅な改善となった。

【来期】(2022年1～3月期〈Ⅰ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲16.0 (今期比± 0.0㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲ 3.2 (今期比+ 6.2㊦)

世界的な半導体不足のため、自動車などに納期遅れが生じているが、来期はその影響が緩和されるとの予想から小売業は改善する見通しである。

### ◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲ 8.0 (前期比+ 6.8㊦)

収益BSI : ▲20.0 (前期比+ 9.6㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲16.0 (今期比▲ 8.0㊦)

収益BSI : ▲16.7 (今期比+ 3.3㊦)

### ◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : + 3.1 (前期比+58.3㊦)

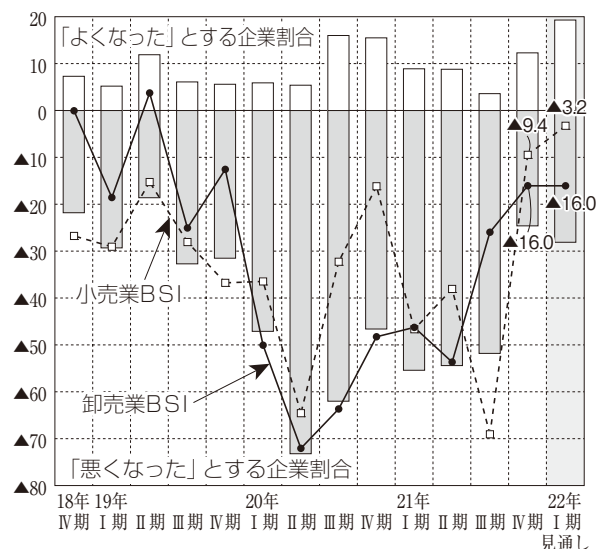
収益BSI : ▲21.9 (前期比+29.8㊦)

【来期】

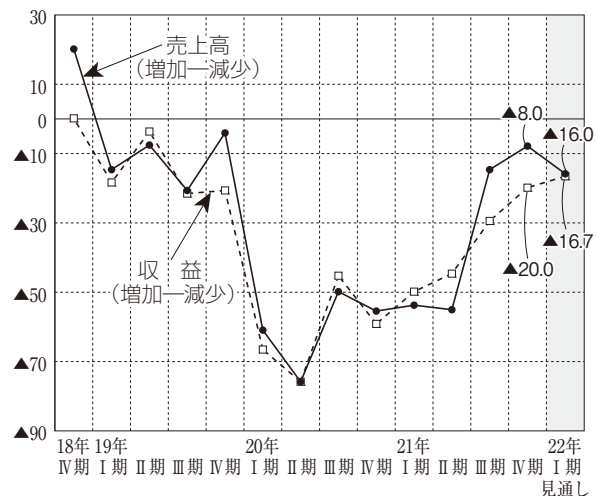
売上高BSI : + 3.1 (今期比± 0.0㊦)

収益BSI : ▲15.6 (今期比+ 6.3㊦)

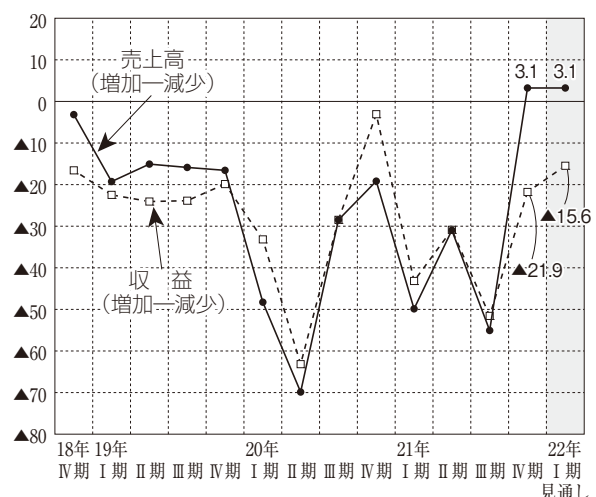
業況判断 (BSI)



【卸売業】 売上高と収益 (BSI)



【小売業】 売上高と収益 (BSI)





## 前期とほぼ同水準

### ◎業況判断

【今期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲20.0（前期比+ 1.4ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 0.0%（前期比▲ 3.6ポイント）
- ・悪くなった 20.0%（前期比▲ 5.0ポイント）
- ・変わらない 80.0%（前期比+ 8.6ポイント）

業況判断BSIはわずかに改善したものの、前期とほぼ同水準となった。仕入価格高騰を課題にあげる企業の割合が低下した一方、人手不足をあげる割合が上昇した。

【来期】(2022年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲32.0（今期比▲12.0ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 0.0%（今期比± 0.0ポイント）
- ・悪くなる 32.0%（今期比+12.0ポイント）
- ・変わらない 68.0%（今期比▲12.0ポイント）

来期は工事量の減少を見込む企業も見られており、業況判断BSIは今期より悪化する見通しとなっている。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 4.0（前期比+ 7.1ポイント）

収益BSI：▲12.0（前期比+ 6.5ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲32.0（今期比▲28.0ポイント）

収益BSI：▲32.0（今期比▲20.0ポイント）

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲16.0（前期比+ 9.0ポイント）

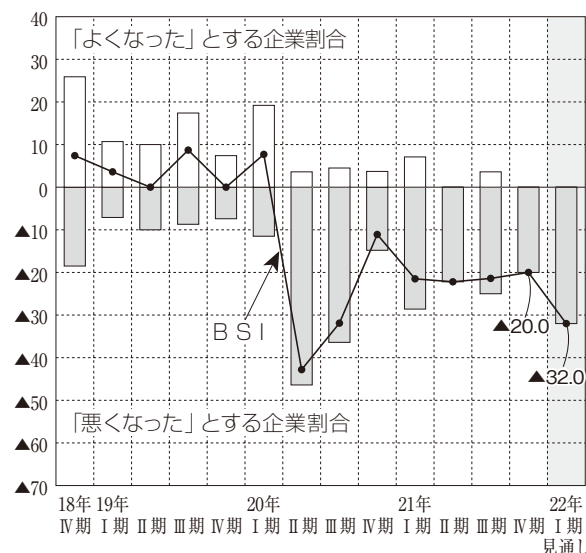
雇用者数の現状BSI：▲59.1（前期比▲ 9.1ポイント）

所定外労働時間BSIは2期連続の上昇となり、来期も上昇する見通しである。一方、雇用者数の現状BSIはコロナ禍にあたる2020年Ⅱ期以降はやや上昇（マイナス幅が縮小）していたが、今期は大きく低下し、人手不足感が増加している。

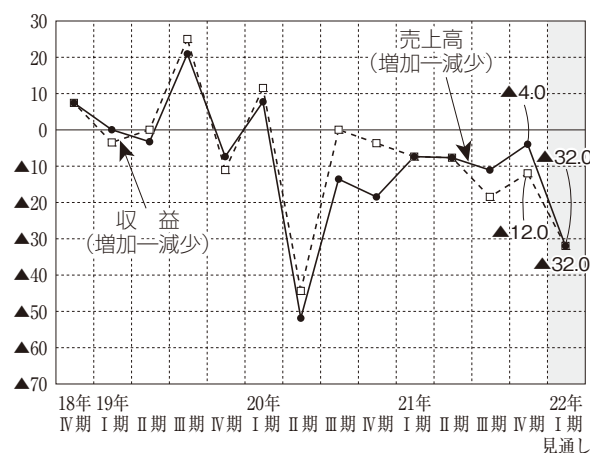
【来期】

所定外労働時間BSI：▲ 4.0（今期比+12.0ポイント）

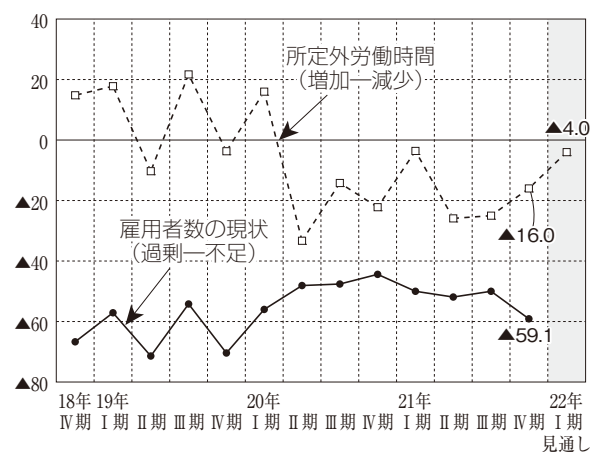
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



# サービス業

(40社)

## 3 期連続で改善

### ◎業況判断

【今期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断 B S I : +17.5 (前期比+47.2ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 32.5% (前期比+27.1ポイント)
- ・悪くなった 15.0% (前期比▲20.1ポイント)
- ・変わらない 52.5% (前期比▲7.0ポイント)

サービス業のうち観光関連の20社では、「よくなった」と回答した企業は前期比34.5ポイント増の45.0%、「悪くなった」と回答した企業は同16.6ポイント減の15.0%だった。観光関連以外(20社)では、「よくなった」と回答した企業が20.0%、「悪くなった」と回答した企業が15.0%だった。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたことから、9月末に緊急事態宣言等が全面解除となった。また、ワクチン接種の普及に伴い行動制限が緩和されており、低迷が続いていた観光関連の需要が回復している。

【来期】(2022年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断 B S I : +10.0 (今期比▲7.5ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 22.5% (今期比▲10.0ポイント)
- ・悪くなる 12.5% (今期比▲2.5ポイント)
- ・変わらない 65.0% (今期比+12.5ポイント)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高 B S I : +23.1 (前期比+58.2ポイント)

収益 B S I : +25.7 (前期比+52.7ポイント)

【来期】

売上高 B S I : +5.2 (今期比▲17.9ポイント)

収益 B S I : +5.2 (今期比▲20.5ポイント)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

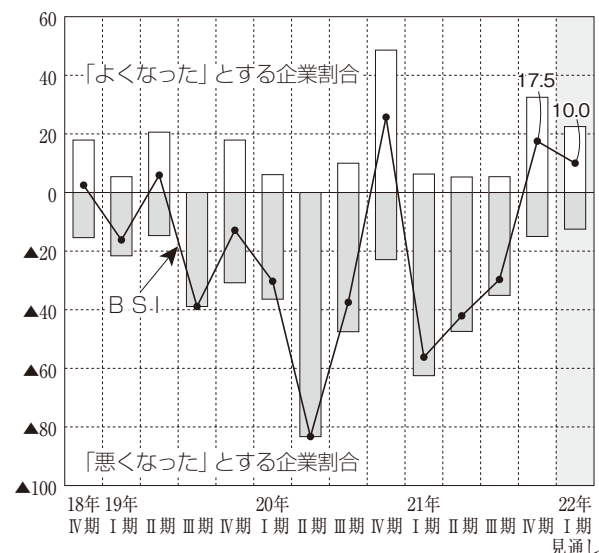
所定外労働時間 B S I : +5.1 (前期比+29.4ポイント)

雇用者数の現状 B S I : ▲15.6 (前期比+14.4ポイント)

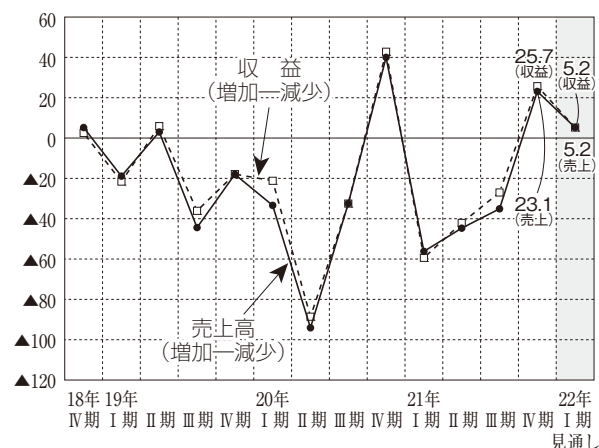
【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲7.6 (今期比▲12.7ポイント)

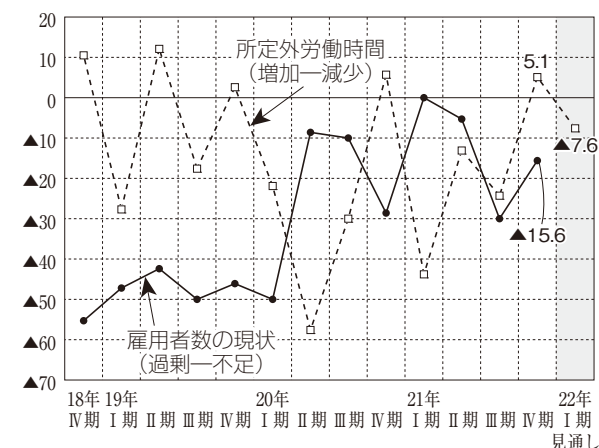
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③  $BSI = \frac{〔よくなる〕}{〔よくなる〕 + 〔悪くなる〕} \times 100$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

## 調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2021年11月20日

◎調査の内容

- ・ 自社の景況の実績と見通し
- ・ 売上高と収益の実績と見通し
- ・ 設備投資実施割合
- ・ 経営上の問題点など

◎調査対象

- ・ 県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 216社

- ・ 回答率 49.9%
- ・ 規模別割合

|               |       |
|---------------|-------|
| 資本金1千万円未満・個人  | 9.2%  |
| 資本金1千万円～1億円未満 | 65.3% |
| 資本金1億円以上      | 13.9% |
| 無回答           | 11.6% |

おおいたの経済と経営 NO.376 1月号付録 2021年12月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階  
 TEL (097) 533-8111 編集発行人 衛藤 健 印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ